大泉桜 高等学校 令和5年度(1学年用) 教科 国語 科目 現代の国語

教 科: 国語 科 目: 現代の国語 単位数: 2 単位

対象学年組:第 1学年 1組~ 5組

教科担当者: (1組:佐々木直 (2組:阿部愛 (3組:佐々木直 (4組:阿部愛)(5組:阿部愛 (組:)

使用教科書: (現代の国語 大修館書店)

教科 現代の国語 の目標:

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える、他者に共感する力、創造する力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】語彙を豊かにして言葉を使いこなし、他者や社会に対する関心を育む。

科目 現代の国語 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識(常用漢字や話し言	目的や場に応じて、実社会から	生活や人生について考えを深め、人間性を豊
葉と書き言葉など)や技能(効果的な話し方など)	適切な話題を決め、様々な情報を収集し伝え合	かにし、たくましく生きる人間性を養う。
を身につける。	う内容を検討できるようにする。	
	自分の考えが的確に伝わるように根拠の示し	
	方等を意識して書ける力をつける。	

	光二の見仕めた北道口標	化送荷口 中央	領域		į	577 /平 1月 3年	ÆΠ	思	쑚	配当
	単元の具体的な指導目標 	指導項目・内容 	話・聞	書	読	· 評価規準	和	心	悲	時数
	①明日をひらく 言葉やコミュニケーションの基礎 を知り、学びに向かう姿勢をつく る。	①「白紙」			0	知 言葉の意味内容を考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。 思 エッセイを読み、内容や構成、論理の展開などについてとらえ、用紙や要点を理解している。 主 問いに向かう姿勢を振り返り、自分で考えることを大切にしている。		0	0	6
	②明日をひらく その2 相手や目的に応じた語句や文体の 使い方を身につける。	②「伝える・伝え合う」	0			知 正確さ、わかりやすさ、適切さなどに配慮して表現している。 思 相手の理解が得られるように表現している。 主 相手や目的に応じた言葉の使い方を積極的に考えようとしている。	0	0	0	6
1							0	0		
学期		③「水の東西」			0	知 比喩、例示、言い換えなどの修辞について理解している。 思 内容や構成、論理の展開についててきかくにとらえ要旨を把握している。 主 積極的に具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。		0	0	10
	④的確に伝える 目的や場面に応じてわかりやすく 伝える。 話し言葉、書き言葉の違いを認識 する。	④「設計図を最初に渡せ!」④「伝わるように話す」④「分かりやすく書く」	0	0		知 話し言葉の特徴や相手に配慮した表現について理解している。書くべき材料の関係や構造について理解している。 思 話ことばの特徴を踏まえ、相手が理解しやすいように表現を工夫している。 主 話す・書くについて相手の立場に立って自らの課題を調整している。	0	0	0	10
										1
	して文章の論理をとらえる。 ⑥意見を示す 自分の考えを整理したり広げたり する。 根拠を明確にして、自分の意見を 示す。	⑤「動的平衡としての生物多様性」 ⑥「発想を広げる」 ⑥「意見を書く」	0	0	0	知 主張と根拠などの情報をもとにしての推 論のしかたについて理解している。 思 話すことについて様々な観点から情報を整理している。 主 論理的な文章を読み情報の関係や推論の しかたに注意しながら内容理解に粘り強く取り 組んでいる。	0	0	0	10
学		⑦「自然と人間の関係を通して考える」 ⑧「伝える先にあるもの」 ⑧「工夫して話す」	0		0	知 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ分かりやすさに配慮した表現、言葉遣いを理解して使う。 思 読み手の理解が得られるように、論理の展開、情報の重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 主 積極的に表現の工夫をしたり、話したり聞いたりいる活動を行なうこと。		0	0	10
3 学	統計資料を正確に読み取る。 ⑩統計資料をもとに意見を書く 統計資料をもとにして、自分の主 張を書く。	⑨「安くておいしい国の限界」⑩「統計資料をもとに自分の意見を書く」	0	0		知 文書と図表の情報がどのような関係にあるか理解している。 思 文書や図表などに含まれる情報を相互に 関連付けながら内容を解釈し、自分の考えを深 めている。 主 図表を伴う文章を読むことでそれを理解 し、自分の考えを深めている。		0	0	10
判		⑪「美しさの発見について」			0	知 個人の情報と一般化された情報の区別がついている。 思 文章に含まれている情報を相互に関連付けながら解釈しね自分の考えを深めている。 主 複数の文章を比較して読むことに興味をもち、共通点・相違点をとらえようとしている。	0	0	0	8 合計 71

大泉桜 高等学校 令和5年度(1学年用) 教科 国語 科目 言語文化

教 科: 国語 科 目: 言語文化 単位数: 2 単位

対象学年組:第 1学年 1組~ 5組

教科担当者: (1組:前澤) (2組:佐々木直子) (3組:前澤) (4組:佐々木直子) (5組:佐々木直子)

使用教科書: (大修館書店 言語文化)

教科 国語 の目標:

【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切につかうことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や判断力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を 尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	31 - 31 - 31 - 31 - 131	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生
		涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我
		が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、
り深め		言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度 / を養う。

	光二の日はなれた道口標	北道在日 中南		領垣	ŧ	-T. /TT +B /#	# D	В	쓴	配当
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容 	話・聞	書	読	· 評価規準	知	思	態	時数
	高度工作への限点 「物職・技能」 文章の意味は、文献の中で形成されることを理解しようとして いる。 東次国の言語文化の特質や我が国と外国の文化の関係について 理事とはうとしている。 [世孝・判断・表現] 「諸社こと」において、作品や文章に表れているものの見方、 感じ方、考え方をとらえ内容を解釈しようとしている。 「主体的に学習に取り組む態度」 高葉がらい価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に と確的に関わろうとしている。	世界を見わたす窓言語と文化の関係について理解する			0	□知識・技能」 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 我が国の言語文化の特質や我が国と外国の文化の関係につい て理解している。 『思考・判断・表現』 『読むこと』において、作品や文章に表れているものの見 方、感じ方、考え方をとらえ内容を解釈している。 「主体的に学習に取り組む態度」 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会 に意欲的に関わろうとしている。	0	0	0	4
1 学期	「新API 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背 旅などを理解しようとしている。 ・古典の世界に親しむために、古典を凝むために必要な文語の をまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解しよ うとしている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「総むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり計論しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・認証文学に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を 該み取ろうとしている。	宇治拾遺物語/児のそら寝 古文の文体になれる 作者の伝えたいことを読み解く			0	「知識・技能」 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を設むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特系の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力 ・「読む」と」において、作品の内容や形式について、批評したり討論したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・設話文学に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとしている。	0	0	0	4
	定期考査									1
		羅生門 『今昔物語集』巻第二九第一八 作品の構成や展開をとらえる 語り手に着目する			0	【知識・技能】・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	0	0	0	6
	古文に親しむ 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背 旅などを理解しようとしている。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語の きまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解しよ うとしている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり計論しようとしている。 【王体的に学習に取り組む態度】 ・設証文学に興味を持ち、登場人物の言動から多様な価値親を 読み取ろうとしている。	宇治拾遺物語/絵仏師良秀 古文の文体になれる 作者の伝えたいことを読み解く			0	【知識・技能】・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】・「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり討論したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】・認話文学に以取り組む態度】・認話文学に現取り組む態度】・ の記言文学に関東を持ち、登場人物の言動から多様な価値観を読み取ろうとしている。	0	0	0	4
	定期考査									1
	伝統と発展 [知識、技能] ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化 的音景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして語 感を磨き、高線を豊かにようとしている。 ・我が国の言語文化の特質や技が国の文化と外国の文化との関 様について理解とようとしている。 [即考力・判断力・表現力] ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構 域、展開などについて発達をもとに的確にとらえようとしてい 5。 「主体的に学習に取り組む態度] ・日本人と西欧人の美意識の違いについて学習した内容をもと にして、自らの「美」に対する考え方を深めようとしている。	実体の美状況の美 作品における自然や美の捉え方に ついて理解を深める 作品における表現の仕方に着目す る。			0	【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景 策を豊かにしている。 [(1) ウ] ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 [(2) ア] [思考カ・判断力、表現力] 「思考カ・判断力、表現力 「表現力・関析のでは、表現のを表現のでは、表現が、表現のでは、まれでは、まれでは、まれでは、まれでは、まれでは、まれでは、まれでは、まれ	0	0	0	4

	人との交わり 【知識、技能の言語文化に特徴的な貼句の量を増し、それらの文化的背景について理解を図め、文章の中で使うことを通して、肝感を褶き用盤を豊かにしている。 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効能について理解している。 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効能について理解している。 ・表示の世界に現しむたかに、市島を競かために必要な文語のきまりや自然できまり、古典的で表現の「大きない」で、大学を一般している。 「設定こと」において、文章の情報を描まえて、内容や構成、展開などについて選邦している。 「設定こと」において、作品や文章に表れているものの見方、成じ方、考え方をおき、内容を解している。 「設定こと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解象を認めている。 「設たこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解象を認めている。 「設定こと」において、作品の対容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、成じ方、考え方を深め、表が国の言語文化について自分の考えをもっている。 「またがに学者に対しまれば、作品に関味をもち、物師の内容や作品の背景、歌に込められた登場人物の別いを提えようとしている。	伊勢物語 芥川/筒井筒 古人の生活やぶんかについて理解 を深める 古人にとっての歌の役割をとらえる		0	「知識・技能」、 ・我が国の書献を化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解を深め、文章の世がは、 ・古典の世界に親しむために、「告品や文章の歴史のか、文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典幹有の表現などについて理解している。 「思考力・判断力・表現力」 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的癖に提えている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的癖に提えている。 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 「読むこと」において、作品の皮立した背景や他の作品などとの関係を踏ま、、内容の解解を深めている。 「読むこと」において、作品の皮立した背景や他の作品などとの関係を踏ま、え、内容の解释を深めている。 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を認め、我が国の音歌文化について自分の考えをもっている。 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を認め、我が国の音歌文化について自分の考えをもっている。	0	0	0	6
2	【知識・技能】	 平家物語			【知識・技能】				1
1学期	・我が国の言語文化の特質や状が国の文化と外国の文化との関 旅について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背 放などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語の きまりや訓読のきまり、古典特介の表現などについて理解している。 ・言文ー数体や和懐張交文など歴史的な文体の変化について理 「是考・判所・表現」 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構 彼、展開などについて叙述を基に的確に投ている。「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見 う、感じ方、孝之方を提入、内容を解釈している。「読むこと」において、体品や文章に表れている。「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見 と」において、作品の内容や概要を踏まえ、自分の ものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 ・「能むこと」において、作品の内容や概釈を踏まえ、自分の ものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 「主体的態度】	歴史的な記録と、語り伝えられる 物語との違いをとらえる			・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり や訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・言文一致体や和漢混文文など歴史的な文体の変化について理解を深めること。 【思考・判断・表現】・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考之が足捉え、内容を解釈している。・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ力、考さな形と、人において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を探め、我が国の言語文化について評価している。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を探め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 ・特語の内容や作品の背景、登場人物の思いをとらえようとしている。				6
	「知識」共建】 ・ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解 している。 ・ 古典の世界に親しむために、古典と彼むために必要な文語のきまりや訓読 のきまり、古典特有の表現などについて理解し 「思考・判断・表現] ・ 「歳故こと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などに ついて寂底を基に的郷に現まている。 「歳故こと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考 え方を発え、内容を解散している。 「歳故こと」において、作品へ文章に表れているものの見方、感じ方、考 え方を表え、内容を解散している。 「歳故こと」において、大事の時故や展開、表現の仕方、表現の特色につ ・ 「ない」に対している。 ・ 「ない」に対している。 ・ 「ない」に対している。 ・ 「ない」に対している。 ・ 「ない」に対している。 ・ 「ない」に対していて知る。 ・ 「ない」に対している。 ・ 「ない」に対していてきない。 ・ 「ない」に対していてきない。 ・ 「ない」に対していていて知る。 ・ 「ない」に対していてきない。 ・ 「ない」に対していていてきない。 ・ 「ない」に対していていていてきない。 ・ 「ない」に対していていていていていていていていていていていていていている。 ・ 「ない」に対していていていていていていていていていていていていていていていていていていてい	土佐日記 古人の旅の状況について理解を深 める。			【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・ 古典の世界に親しむために、古典を謎むために必要な文語のきまりや訓練のきまり、古典幹有の表現などについて理解している。 「認むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的瞭に提えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的瞭に提えている。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 「直体的に学習に取り報む態度】 学習の見通しをもって、作品に描かれた古人の旅について作品を読み味わうことをとおして、当時のならむしについて知り、旅について告かれた日記の意義について考えようとしている。				6
	定期考査								1
3	を理解しようとしている ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解しようとしている。 ・古典の世界し張りとしている。 ・古典の世界に援しむために、作品や文章の歴史的・文化的育策などを理解しようとしている。 ・古典の世界に援しむために、古典を設たさめに必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解しようとしている。 ・「認むこと」において、文章の種類を勝まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえようとしている。 ・「読むこと」において、大章の種類を勝まえ、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえようとしている。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈しまうとしている。 ・「読むこと」において、作品の内容や検釈を踏まえ、自分のの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化こいて自分の考えをもとうとしている。 ・「結むこと」において、作品の内容や検釈を踏まえ、自分ののの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化こいて自分の考えをもとうとしている。	蛇足(戦国策)/完璧 (十八史略) 故事成語の意味や背景について理解 を深める 作者が話しに込めた意図を読み取る		\sim	【知識・技能】 ・言葉には、文化の離承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること ・ 岩状国の言語文化の特質や現が国の文化と外国の文化との関係について理解すること ・ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること ・ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解する こと ・ 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断が・表現力】 ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとにら続いて、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとにら続いて、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・ 「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を振めている。 ・ 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を使み、我が国の書語文化について自分の考えをもつている。 ・ 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を使み、我が国の書語文化について自分の考えをもつている。 ・ 【主体的に学習に取り組む極度】 ・ 故事成語の内容や文化的背景に興味を持ち、学習したことを普段の生活の中に生かそうとする。	0	0	0	8
学期	知識・技能] ・ 我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を潜きる確全豊かにしている。 ・ 我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考・判所・表現】・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じた、考え方をとらえ、内容を解彰している。 ・ 「読むこと」において、作品の内容を解彰とふまえ、自分のもの見方、感じ方、考え方をとらえ、放び国の言語文化について自分の考えをもっている。 【主体的に学型に取り組む態度】・作品に興味をもち、主人公の心情の変化を、動物や自然との関わりから理解しようとしている。	城の崎にて 主人公の心情の変化を動物や自然の 関りから理解する。			知識・技能) ・	0	0	0	8
									1
									合計 61

大泉桜高等学校 令和5年度(1学年用) 教科

科目 歴史総合

教 科: 地歴公民 科 目: 歴史総合 単位数: 2 単位

対象学年組:第 1学年 1組~ 5組

教科担当者: (1組:内田) (2組:内田) (3組:長澤) (4組:長澤) (5:長澤) (組:)

使用教科書: (明解 歴史総合 帝国書院)

教科 地歴公民 の目標:

【知識及び技能】資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。

【思考力、判断力、表現力等】複数の資料の関係に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し表現する。

【学びに向かう力、人間性等】知識・思考力等を身に付けることに向けた粘り強い取り組みの中で、自らの学習を調整していく。

科目 歴史総合 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	近代化・国際秩序の変化や大衆化・グローバル 化などの歴史の変化と関わらせて、知識及び技 能で取り上げる諸事象と日本や日本周辺の地域 及び世界の歴史との関連性について考察し、表	等を身に付けることに向けた粘り強い取り組み
	現する。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	グローバル化の中の世界と日本 ・冷戦終結後の国際政治の変容と課 題を理解する。 ・冷戦の変容と終結の背景等に着目 し、地域相互の関連性を考察する。 ・知識、技能等の獲得に向けて粘り 強い取り組みを行う。	指導内容 ・ロシアのウクライナ侵攻を、冷 ・ロシアのウクライナ侵攻を、冷 戦の展開と終結の過程を関連付け て考える。 使用教材 ・明解歴史総合(帝国書院) ・明解歴史総合図説シンフォニア (帝国書院)	・ 冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解できたか。 ・ 冷戦の開始から終結までの展開と、ロシアのウクライナ侵攻を関連付けて考察できたか。 ・ ロシアのウクライナ侵攻の背景を、読み取ろうと努力したか。	0	0	0	6
	アジア諸国の動揺と日本の開国 ・18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 ・アジア諸国と欧米諸国との関係の 変等を考察し、表現する。 ・知識、技能等の獲得に向けて粘り 強い取り組みを行う。	国の変容について、資料を読み取	・欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容を、資料等から読み取ることができたか。 ・アジア諸国の変容を、比較したり関連付けて考察できたか。 ・欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代に与えた影響を追及しようとしたか。	0	0	0	8
1 学	定期考査			0	0		1
期	近代化が進む日本と東アジア ・日本の明治維新等を基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。 ・政治変革の特徴、国民国家の特徴 等を、多面的に考察する。 ・知識、技能の獲得に向けて粘り強 い取り組みを行う。	やアジア諸国の変容について、資料を読み取り理解する。 使用教材	・日本とアジア諸国の変化について、資料や本文から読み取り理解できたか。 ・明治維新という事象及び後世への影響について、見解を表現できたか。 ・明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追及しようとしたか。	0	0	0	7
	近代化が進む日本と東アジア ・日清,日露戦争等を基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 ・帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容等を考察する。 ・知識,技能の獲得に向けて粘り強い取り組みを行う。	影響について考察する。 使用教材 ・明解歴史総合(帝国書院) ・明解歴史総合図説シンフォニア	・日清,日露戦争の経緯とその影響について理解できたか。 ・帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容を、多面的に考察して表現できたか。 ・日清,日露戦争の影響について、積極的に理解しようとしたか。	0	0	0	4
	定期考査			0	0		1
	第一次世界大戦と日本の対応 ・第一次世界大戦の展開や国際連盟 の成立等を基に、総力戦と戦後の国 際協調を理解する。 ・一次世界大戦の性格を、多角的 に考察し表現する。 ・知識,技能の獲得に向けて粘り強 い取り組みを行う。	世界大戦勃発から終戦までの経緯 を理解する。 使用教材 ・明解歴史総合(帝国書院)	・第一次世界大戦の経緯と、参戦国の社会の変化について十分理解できたか。 ・様々な立場の人々が、どのような目的で戦争に協力したにかについて考察できたか。 ・国際秩序と大衆の戦争参加が現代社会に与えた影響について追及しようとしたか。	0	0	0	7
	国際協調と大衆社会の広がり ・大正デモクラシーと政党政治等を 基に、大衆社会の形成と社会運動の 広がりを理解する。 ・第一次大戦後の社会の変容と社会 運動の関連等を考察する。 ・知識,技能の獲得に向けて粘り強 い取り組みを行う。	秩序と、国際社会や各国に生じた 変化について理解する。 使用教材 ・明解歴史総合(帝国書院)	・ヴェルサイユ体制によって形成された国際 秩序が十分理解できたか。 ・新しい国際秩序と大衆社会の特徴について 考察し、見解を表現できたか。 ・国際秩序の成立と大衆社会の到来が、現代 社会に与えた影響と課題について追及しよう としたか。	0	0	0	7
2	定期考査			0	0		1
学期	日本の行力と第二次世界入戦 ・世界恐慌等を基に、国際協調体制 の動揺を理解する。 ・各国の世界恐慌への対応等を、多 面的に考察し表現する。 ・知識、技能の獲得に向けて粘り強 い取り組みを行う。	が、現代社会に与えた影響について理解する。 使用教材 ・明解歴史総合(帝国書院) ・明解歴史総合図説シンフォニア (帝国書院)	・世界恐慌およびその後の各国の政治判断が、現代社会に与えた影響について理解できたか。 ・各国の世界恐慌への対応等を、多面的に考察して表現できたか。 ・世界恐慌発生の要因について、理解しようと努めたか。	0	0	0	7
	日本の行方と第二次世界大戦 ・第二次世界大戦の展開と戦後の国際秩序を理解する。 ・第二次世界大戦の推移と戦後の社会に与えた影響等を、多角的に考察し表現する。 ・知識、技能の獲得に向けて粘り強い取り組みを行う。	終戦に至るまでの経緯について、 資料を読み取り理解する。 使用教材 ・明解歴史総合(帝国書院)	・世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至る までの経緯について、資料を読み取り理解で きたか。 ・第二次世界大戦が社会に与えた影響など を、多角的に考察し表現できたか。 ・第二次世界大戦が元代に与えた影響につい て、理解しようと努めたか。	0	0	0	5
	定期考査			0	\cap		1

・資料から情報を読み取る、まとめる等の技能を身に付ける。 ・グローバル化に伴う生活や社会の 変容について考察し、問を表現す	合、ナショナリズムの強化等各地 域を比較して考察する。 使用教材 ・明解歴史総合(帝国書院)	・グローバル化の特質について、資料や本文から読み取り理解する。 ・グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化について、各地を比較して考察する。 ・グローバル化の進展が、現代社会に与えた影響と課題について追及しようとした。	0	0	0	14
定期考査						1 合計 70

大泉桜高等学校 令和5年度(1学年用) 数学 科目 数学 I

科 目: 数学 [単位数: 3 単位 教 科: 数学

対象学年組:第 1学年 1組~ 5組

教科担当者: (12a組:谷藤) (1b組:菊地久) (2b組:上田) (34a組:谷藤) (3b組:菊地久) (4b組:上田)

> (5a組:谷藤) (5b組:上田)

使用教科書: (数研出版 新編数学 I)

【知 識 及 び 技 能 】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈 したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察 する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しよう 【学びに向かう力、人間性等】とする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の 基礎を養う。

科目 数学 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	みたり目的に応じて適切に変形したりする力, 図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質	ようとする態度、問題解決の過程を振り返って 考察を深めたり、評価・改善したりしようとす

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
いて理解を配法ができる。 同類でよる展開、 国数分解などができる。 は数分解な判断できる。 日間類の方法と関連に応じてで に提表を関連に捉えたのに。 日間類の方法と関連に捉えずること。 は、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では	う。 2 多項式の乗法 二次の乗法公式の理解を深め、 式を多面的にみたり目的に応じて 式を適切に変形したりする。 分配法則により、展開できるよ うにする。公式や置き換えを利用 して、手際よく展開することも知	【知識・技や多項ス、同類項、次数など式に関連式を発見で、大数など式に関項項、次数など式に関項項、次数など式に関項の表で、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別	0	0	0	13
定期考査			0	0		1
数と式(2) 【知識及び技能】 数を実数まで拡張する意義を理解 し、簡単な無理数の四則計算をする こと。 不等式の解の意味や不等式の性質 について理解し、一次不等式の解を	中学校までに取り扱ってきた数 を実数としてまとめ,数の体系に ついての理解を深める。その際,	【知識・技能】 ○分数を循環小数で表すことができる。 ○有理数が整数、有限小数、循環小数のいずれかで表される理由を理解している。 ○有理数、無理数、実数の定義を理解し、それぞれの範囲での四則計算の可能性について理解している。				

学期	不等式の性質を基に一次不等式を考察することを繋すること。事事、などを教学的に事事を一次不多で、人間性等】こと。【学びに向かう力、人間性等】これまととでは、一切でいて考察すること。	応していることなどについて理解するとともに、簡単な無理数の四則計算ができるようにする。 第3節 一次不等式 6 不等式の性質 7 1次不等式 8 絶対値を含む方程式・不等式不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに不等式の性質に対して理解するとともにを表したり、具体的な事象	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	0	0	0	15	
	ること。 【思考力、判断力、表現力等】 2 次関数の式とグラフとの関係につい て、コンピュータなど の情報機器を用いてグラフをかくな どして多面的に考察するこ と。 【学びに向かう力、人間性等】 放 物線のもつ性質や、日常生活におけ	2次関数の値の変化やグラフの特徴を理解するとともに、2次関数の	○定義域に制限がある1次関数のグラフがかけて,値域が求められる。 \bigcirc y= $[ax]^2$, y= $[ax]^2$ +q, y= $[a(x-p)]^2$ +q の表記について,グラフの平行移動とともに理解している。 \bigcirc $[ax]^2$ +bx+c を $[a(x-p)]^2$ +qの形に変形できる。	0	0	0	1	

定期考査		て、考察することができる。 〇2次関数の値の変化をグラフから考察することができる。 〇具体的な事象の最大・最小の問題を、2次関数を用いて表現し、処理することができる。 ○定義域が変化するときや、グラフが動くときの最大・値について、考察することができる。 ○2次関数の決定において、条件を処理するのにした式の形を判断することができる。 ○2次関数の決定において、条件を処理するのに当したができる。 ○2次関数の決定において、条件を処理するのに当したができる。 ○1 常生活に見られる関数の具体例を見つけて多震でいた。 ○1 中常生活に見られる関数の具体例を見つけて多にでいて、理解を深めようとする。 ○2を関本のもつ性質に興味・関心を示し、自ら調べようとする。 ○2を関数の子行移動や対称移動の一般公式を考察しようとする。 ○1 常生活における具体的な事象の考察に、2次関数の最大・最小の考えを活用しようとする。 ○2次関数の決定条件に興味、関心をもち、考察しようとする。	0	0		1
2 次関数(2) 【知識及び技能】 2 次関数のグラフとの関係に対しているに対しているに対しているに対しているに対しているに対しているに対しているに対しているに対しているに対しては対しては対しては対しては対しては対しては対しては対しては対しては対しては	2次方程式や2次不等式の解と2次	○2次方程式において,判別式 D=b^2-4ac の符号と実数解の個数の関係を理	0	0	0	13

集合と命題 【知識及び技能】 集合と命題に関する基本的な概念 を理解すること。 【思考力、判断力、表現論理的に考察 し、所述、表現論理的に考察 し、所述、表別のでは、表別のでは、 集合の事を証明する 【学びに向から方、人間性等】 命題と条ついで、積極的に理解し とようとすること。	4 命題と証明 集合と命題に関する基本的な概 念を理解し、それを事象の考察に 活用できるようにする。 ・教科書、問題集、Webドリル	【知識・技能】 ○命題の真偽、反例の意味を理解し、集合の包含関係や反人をで、の趣味を理解し、集合の包含関係や反とができる。 ○必要条件、十分条件、必要条件の方案を理解し、方面を決定することで、の表別を理解している。 ○条件の否定、ド・否定が攻められる。 ・のを養性の確定、ド・否定が攻められる。 ・のを養性の否定、ド・否定が攻められる。 ・のを養性の否定、ド・否定が攻められる。 ・のを養性の否定、ド・否定が攻められる。 ・のを養性の否定、ド・否定ができる。 ・の、有別の名ととやす理法のしくみを理解し、対している。 ・「、真偶による証明法とかず理法のしくみを理解して、は、方面においている。 ・「、真個の名とにおいてが付けさる。 ・の題が偽いことを示するは、反例を1つるが関係にとがです。 ・の・一の・一の・一の・一の・一の・一の・一の・一の・一の・一の・一の・一の・一	0	0	0	5
定期考査			0	0		1
形の決定条件や三平方の定 理と関連付けて理解し、三角形の辺 の長さや角の大きさなどを 求めること。	3 三角比の拡張やの基本的な相互 高角比の意味やその基本的な相互 このいて理解について理解について理解について理解につき事象や社三のまた。 このまた、学的にと解決である。また、学的にと解決である。また、学的にと解決である。 第 2 節 弦定理と会議をう。 第 2 節 弦定理と会議を定理と会議を定理と会議を定理との形での応用 2 空間の形の表別に定性の形で、式事に関係を公のなどを数でに対して、でいるがである。 8 図形を用して常のに用 図形を用して常のに用 の関係を公会のは、式事をときるなどをなどをなどを放立とを表え、同したを 第 2 を象えどをなどのより、式事に関係を公のなどの表別に変している。 第 2 を象え、正は、一部では、また。 第 2 を象え、正は、また。 第 3 とををまた。 第 3 とををまた。 3 とををまた。 3 とををまた。 4 とををまた。 5 とをををまた。 5 とをををををををををををををををををををををををををををををををををををを	【知識・技能】 〇直角三角形において,正弦,余弦,正接が求められる。 〇三角第ではおいて,正弦,余弦,正接が求められる。 〇三角第一角形の辺の長さを主角比で表することができる。 「直角三角形の辺の長さを三角比で表する。 〇三角出の値が求められる。 〇三角出の値が求められる。 〇らin $\mathbb{I}(90^\circ - \theta)$ = \mathbb{I} おどの公式が利用できる。 ○回角三角形の斜辺の長さを適当に変えて,三角比を考察することができる。。 ○回角三角形の斜辺の長さを適当に変えて,三角比を考察することができる。 ○回角三角形の斜辺の長さを適当に変えて,三角比を考察することができる。とがの心を引用できる。 ○のin $\mathbb{I}(180^\circ - \theta)$ = \mathbb{I} sin θ などの公式が利用できる。 ○のin $\mathbb{I}(180^\circ - \theta)$ = \mathbb{I} sin θ などの公式が利用できる。 ○のin $\mathbb{I}(180^\circ - \theta)$ = \mathbb{I} sin θ などの公式が利用できる。 ○のin $\mathbb{I}(180^\circ - \theta)$ = \mathbb{I} sin θ などの公式が利用できる。 ○のin $\mathbb{I}(180^\circ - \theta)$ = \mathbb{I} sin θ などの公式が利用できる。 ○のin $\mathbb{I}(180^\circ - \theta)$ = $\mathbb{I}(180^\circ - $				

			○三角比を利用して,正四面体などの体積を 求めることができる。 【思考・判断・表現】				
			〇三角比の表から $\sin\theta$, $\cos\theta$, $\tan\theta$ の値を読み取ることができる 〇具体的な事象を三角比の問題としてとらえることができる。 〇三平方の定理をもとに三角比の相互関係を考することができる。 〇既知である鋭角の三角比を, 鈍角の場合に	0	0	0	20
			拡張して考察することができる。 ○三角形の辺と角、外接円の半径の間に成り立つ関係式として、正弦定理を導くことができる。 ○正弦定理を測量に応用できる。 ○三角形の辺と角の間に成り立つ関係式とし				
			て、会弦定理を導くことができる。 ○余弦定理を測量に応用できる ○正弦定理を a:b:c=sinA:sinB:sinCとしてとらえ、三 角形の角の大きさについて考察することがで きる。 ○三角比と三角形の面積の関係を考察するこ				
			とができる ○三角形の面積を、決定条件である2辺とその 間の角または3辺から求めることができる。 ○空間図形への応用において、適当な三角形 に若して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○日常の事象や社会の事象などに三角比を活				
			用しようとす ○三角比の相互関係を調べようとする ○これまでに学習している数や図形の性質に関する拡張と対比し、三角比を鋭角から鈍角まで拡張して考察しようとする ○三角比が与えられたときのθを求める際に、図を積極的に利用しようとする				
			○tan θ と直線の傾きの関係に興味をもち考察しようとする。 ○正弦定理の図形的意味を考察する。また, 三角形の外接円,円周角と中心角の関係など から,正弦定理を導こうとする ○余弦定理の図形的意味を考察する。また, 三平方の定理をもとに余弦定理を導こうとす				
3 学			○三角形の解法について興味を示し、sin75° なども求めようとする。 ○三角形の内接円と面積の関係を導こうとす る。 ○日常の事象や社会の事象などに正弦定理や 余弦定理を活用しようとする。				
期	データの分析	1 データの整理	【知識・技能】				
	7 一ラの分析 「知識及び技能】 分散、標準偏差、散布図及び相関 係数の意味やその用い方を 理解すること。 コンピュータなどの情報機器を用 いるなどして、データを表 やグラフに整理したり、分散や標準 偏差などの基本的な統計量 を求めたりすること。 具体的な事象において仮説検定の	 データの代表値 データの散らばりと四分位数 分散と標準偏差 2つの変量の間の関係 仮説検定の考え方 データの散らばり具合や傾向を 	「内には、 でなに」 できない。 できない。 できない。 できなが、 できなが、 できなが、 できる。 ○ 平均値や最頻値、 中央値の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。 ○ のできなができる。 ○ できないできる。 ○ でいばりを比較することができる。 ○ ないげ図をかき、データの分布を比較することができる。 ○ とストグラムと箱ひげ図の関係について理				
	考え方を理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 データの散らばり具合や傾向を数 値化する方法を考察するこ と。 目的に応じて複数の種類のデータ を収集し、適切な統計量やグラフ・ 手法などを選択して分析を行い、 データの傾向を把握して事象の特徴	データの傾向を把握して事象の特 後を表現する力,不確実な事象の 起こりやすさに着目し,主張の妥 当性について,実験などを通して 判断したり,批判的に考察したり する力などを養う。	解している。 ○偏差の定義とその意味を理解している。 ○分散、標準偏差の定義とその意味を理解し、それらに関する公式を用いて、分散、標準偏差を求めることができる。 ○相関係数の定義とその意味を理解し、定義にしたがって求めることができる。 ○相関係数は散布図の特徴を数値化したものであること、数値化して扱うことのよさを理				
	を表現すること。 不確実な事象の起こりやすさに着 目し、主張の妥当性につい て、実験などを通して判断したり、 批判的に考察したりするこ と。		解している。 〇分割表の意味を理解し、問題解決に活用することができる。 〇仮説検定の考え方を理解し、具体的な事象に当てはめて考えることができる。 【思考・判断・表現】				

定期考査	一一			1
		0	0	合計 82



大泉桜高等学校 令和5年度(1学年用) 4理科 科目 化学基礎

教 科: 理科 科 目: 化学基礎 単位数: 2 単位

対象学年組:第 1学年 1組~ 5組

 教科担当者: (1組: 藤谷 (2組: 藤谷 (3組: 藤谷 (4組: 藤谷 (5組: 藤谷 使用教科書: (東京書籍 化学基礎 (701))

 教科 理科 の目標:

【知 識 及 び 技 能】日常生活や社会との関連を図りながら、物質の変化や性質について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験等に関する基本的な技能の習得。

【思考力、判断力、表現力等】観察・実験等を行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】物質とその変化や性質について主体的に関り、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質と その変化について理解するとともに、科学的に 探究するために必要な観察・実験等に関する基 本的な技能の習得。		物質とその変化について主体的に関り、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	化学と人間生活との関りについて理解し、観察・実験等に関する技能を身につける。身近な物質について、観察・実験などを通じて探究し、、教学的に考察し表現する。授業に主体的に取り組み、科学的に探究しようとする態度を養う。	1編 化学と人間生活	化学と人間生活との関りについて理解し、観察・実験等に関する技能を身についている。 身近な物質について、観察・実験などを通じて探究し、科学的に考察し表現できる。授業に主体的に取り組み、科学的に探究しようとする態度が出来ている。	0	0	0	2
	化学と人間生活との関りについて理解し、観察・実験等に関する技能を身につける。身近な物質について、線察・実験などを通じて探究し、科学的に考察し表現する。授業に主体的に取り組み、科学的に探究しようとする態度を養う。	1編 化学と人間生活 2章 物質の成分と構成元素	物質の分離や精製の実験を通じ、実験の基本操作と探究方法を身につける。単体・化合物や粒子の熱運動と温度との関係性、物質の三態変化について理解している。元素について、観察・実験などを通じて探究し、科学的に考察し表現できる。授業に主体的に取り組み、科学的に探究しようとする態度が出来ている。	0	0	0	5
1 学							
期	験等を通じて理解し、それに関する 技能を身につける。物質の構成について、観察・実験などを通じて探究 し、物質の構成に関する規則性や関 係性を表現する。物質の構成に関し て授業に主体的に取り組み、科学的 に探究しようとする態度を養う。	2編 物質の構成 1章 原子の構成と元素の周期表	原子の構造及び陽子・中性子・電子の性質の 理解している。元素の周期律や原子の電子配置と周期表との関係について理解している。 物質の構成について、問題等を通じて電子配置や周期表の規則性に関する思考力を養う。 物質の構成について主体的に取り組み、科学的に探究しようとする態度が出来ている。	0	0	0	5
	物質の化学結合について、観察・実験等 を通じて理解し、それに関する技能をと につける。物質の化学結合について、 察・実験などを通じて探究し、物質の構 成に関する規則性や関係性を表現する 物質の化学結合に関して授業に主体的に 取り組み、科学的に探究しようとする態 度を養う。	2編 物質の構成 2章 化学結合	イオンの生成と電子配置の関連性について理解している。イオン結合及びイオン結晶ついて性質を理解している。イオンについて、授業内の発問や問題等を通じてイオンの生成と電子配置の関連性を正確に判断し表現できる。イオン及びイオン結合について主体的に取り組み、科学的に探究しようとする態度が出来ている。	0	0	0	14
_	物質量は粒子数・質量・気体の体積との		 				
2		3編 物質の変化 1章 物質量と化学反応式	物質量は粒子数・質量・気体の体積との関係 について、化学反応式は式が反応に関与する 物質とその量的関係を表すことを理解してい る。それらの観察・実験に関する技能を身に ついている。	0	0	0	11
学期	酸や塩基に関する美熱などを行れ、 酸と塩基の性質及び中和反応に関与 する物質の量的関係を理解する。 と塩基に関する観察・実験を通じて 酸性と塩基性の強弱や中和反応の原 理等について理解し、適切に表現す る。	3編 物質の変化 2章 酸と塩基	酸や塩基に関する実験などを行い、酸と塩基 の性質及び中和反応に関与する物質の量的関 係を理解している。酸と塩基に関する観察・ 実験を通じて酸性と塩基性の強弱や中和反応 の原理等について理解し、適切に表現でき る。	0	0	0	16
3 学	酸化と還元が電子の授受によること を理解する。酸化と還元に関する観察・実験を通じて、電子の授受について理解し、適切に表現する。酸化 と還元に関して授業に主体的に取り 組み、科学的に探究しようとする態度を養う。	3編 物質の変化 3章 酸化還元反応	酸化と還元が電子の授受によることを理解する。酸化と還元に関する観察・実験を通じて、電子の授受について理解し、適切に表現する。酸化と還元に関して授業に主体的に取り組み、科学的に探究しようとする態度を養う。	0	0	0	16
力期		3編 物質の変化 終章 化学が拓く世界	化学基礎で学んだことが日常生活や社会を支えている科学技術と結びついていることを理解している。	0	0	0	1 合計

大泉桜高等学校 令和5年度(1学年用) 教科 保健体育 科目 体育

単位数: 3 単位

 教 科:
 保健体育
 科 目: 体育

 対象学年組:
 第 1 学年 1 組~ 5 組

の目標:

教科担当者: (1~5組女子:安海、鳴海、和田、町田) (1~5組男子:佐藤、鳴海、町田) 使用教科書: (なし)

教科 保健体育

【 知 識 及 び 技 能 】 体育について、下記の事項を身に付けることができるよう指導する。 【思考力、判断力、表現力等】 体育について、下記の事項を身に付けることができるよう指導する。 【学びに向かう力、人間性等】 体育について、下記の事項を身に付けることができるよう指導する。

科目 体育 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けることができるようにする。	発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝	互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	A. 体へくの運動「男女共智」 「細酸及び運動」体ほぐしの運動では、ラジオ体操などの手軽へ運動を行い、心と 体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わら合う こかできるようにする。実生はに生か工業の計画では、おおいに応じて、検験 ができるようにする。実生が上かっまかり計画では、おおいに応じて、検験 ができるようにする。現力等」自こや中間の混題を発見し、合理的な解決に向けて 運動の取り温かな工夫するともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること これでは、カント・人間性等1体へくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに 助け合い表とおようとなど、と、一人一人の事は、に応じた動きととそがにしまる いず合い表とおようとなると、一人一人の事は、に応じた動きととそがにしまう とすること、話合いに貢献しようとすることなどや健康・安全を確保することがで をとようにてある。	・ラジオ体操 ・50m、1000m走、1500m走 ・アイスブレイク ・一人1台端末の活用 等	及の事項を存に付けることができることを評価限定とする。 打破底及び郷別・地域では、定時的・計劃的に運転を組織することは、心身の健康、健康 や体力の保持増進につながる置敵があること。運動では、時間と協力して課題を達成する など、集団で発展するような運動を行うことを通じて、気付いたり間別り合ったカラに とができる。 12考力、判断力、表現力等1健康や安全をを安安を確保するために、体力や体調に応じ た運動の計画等について援り返ることができる。また、体力の程度や控制等の違いに配慮 して、仲間とともに存つくフ郷の参楽したための活動の力法や修正の世力を見付けることが ができる。 「学びに向かう力」人間性等1体つくり運動の学習に自主的に取り組み、一人一人の違い に応じた動きなどを欠切にしようとすることや仲間に課題を伝え合うなど、左いに助け合い教え合おとうですることができる。	0	0	0	5
	○ 0.70-1-0. 日 - 3種に動場 (円 9	・前転、後転、開脚前転、開脚後 転、側転、ロンダート 等の基本 的な技 ・倒立、倒立前転、ハンドスプリ ング、バク転 等の技 ・一人 1 台端末の活用 等	水の事項をおに付けるととができることを書類観象サイム。 振編取らび終却 加端では、自己の動きや特別の参生力を分析するには、自己観音と他者 観察などの方法があることや技と間違させた補助議験や部分を分析するには、自己観音と他者 観察などの方法があることや技と間違させた補助議験や部分検密を取り入れることによっ の、結果として体力を高めることができること、大量では、体をマットに輝くに接触さ に関係するための動き方、回転力を高めるための動き方で、基本的な技の一端の動きを待 を次えて開発することができる。 担考力、判断力、表現力等)選択した技に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を 増添ことや特別やゲループで分担した技術に関する成果や定費すべきボイントについて自 口が続か変数がより、原性で基準を表現を表現を表現を表現を表現を なったり補助し合ったりして、互いに助け合い教え合おうとすることができる。	0	0	0	12
	C: ゴール型 バスケットボール (男子) 数人間と社会と投資を分けている体育のため、通年を急して同じ残業を4 ローラ (1) 幅度 ひけ後門) 安康したボール操作と配局を作りたすなどの動きによってゴール 明一の侵入などから気防をすることができるようにする。 (18考力、判断力、衰弱力等) 水防などの自己やナームの獲を発見し、合理的な解決に向けて運動の収力を加入が工土するとともに、自己や仲間の考えたことを依然に向けて運動の収力を加入が工土するとともに、自己や仲間の考えたことをなりにしょうとすること、「一人一人の強いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、反いに助け合い教え合おうとすること、などや健康、安全を確保することができるようにする。	 基本的なパス ドリブル レイアップシュート ゲームの理解 ゲーム 一人1台端末の活用 	次の事項を身に行けることができることを評価規準とする。 「知識及び状態」知識では、実験なの各型の各種において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、コール前にない空間を作りますために、守備者を引きつけてゴールから離れることができる。 「思考力、判断力、表現力等】ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返ることや球状の学習成を発きで、業とむための関わり方を長付けることができる。 「学びに向かう力、人間性等」状状の学習ないできる。 「学びに向かう力、人間性等」状状の学習ないません。	0	0	0	12
1	□ : ネット型 バレーボール (男子) 率人間と社会と接悪を分けている体育のため、通年を通して間し接乗を4ローデ (1 触衷及び技能) 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空い場所をめてみ気防をすることができるようにする。 (1 歴史力、判断方、表現力等) 攻防などの自己やチームの課題を発見した分配が合数法の行で譲勢の取り組み方を工夫するとともに、自つ中間の考えことを他者に伝えることができるようにする。 (学びに向かう力、人間性等) 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなブレイを大切にしようとすること、作戦などについての話やいて買放しようとすること、作戦などについての話やいて買放しまうと、でした。 (2 下人のの違いにだしてプレイなどを大切にしようとすること、に助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	・基本的なパス ・スパイク ・サーブ ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人 1 台端末の活用 等	次の事項を奪に付けることができることを評価規準とする。 「地職及び投送」知識では、実技の各型の各種において用いられる技術や破析、 作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、 エルルを相手側のコートの変いた場所でねらった場所に打ち返すができる。 「思考力、判断力、表現力等」ルールを守り競争したり動数を受け入れたりする場面で、よりよいケーや行ちたついて、自己の結婚を損り返るけ入れたりする場面で、よりよいケーや行ちについて、自己の結婚を損り返るけ入れたりする場合を表しまたかの問題り力を見付けることができる。 「学びに向かう力、人間性等」球技の学習に自主的に取り組み、相手を尊重するなとグラフェアなアンイを大切にしようとすることと作戦などについての話合いに貢献しようとすることができる。	0	0	0	12
字期	D:ネット型 バレーボール [女子] 「知識及び長能】 役割に広じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いを場所をめぐるみ助かすることができるようにする。 【思秀力、判断力、表現力が) 攻防などの自己やチームの製塩を発見した 合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間 の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェア なアレイを大切にしようとすること、作業とどについての前さいに貢献した よった。としていることができるとでは、 なアレイを大切にしようとすることを必ず、健康・安全を確保 することが、これに助け合い収支を対した。	・基本的なパス ・スパイク ・サーブ ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人 1 台端末の活用 等	次の事項を身に付けることができることを評価規準とする。 1 知識及び接近 加瀬では、東状皮の登辺の各種において用いられる技術や戦術、 作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、 ボールを相手側のコートの空いた場所でれることが開放できる。 「思考力、判断力、表現力等」ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行名でいて、自己の動を提り返ることや球技の等密成 果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継載して 乗しむための関わり方を見付けることができる。 1季びに向かう力、人情性等」球技の学習に自主的に取り組み、相手を尊重するな どのフェアなアンイを関いたようとすることと作戦などについての話合いに貢献 しようとすることができる。	0	0	0	12
	E. バースボール型 キックバース 【女子】接入間と社会と接妻を分けている体育のため、適等を通して間に接妻を41一テ 「物職及び技能』 状限に応じた差壁での攻撃、安定したボール機作と状限に応じた呼吸とどによって攻防をすることができるようにする。 [恩考力、判断力、表更力等] 生態におたって運動を置か、判断力、表すたことを抱着に応えることができるようにする。 「セラウス・メール・スタース・スタース・スタース・スタース・スタース・スタース・スタース・スタ	 基本的なキャッチボール ・捕球の仕方 ・キック ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人1台端末の活用 	次の事項を好に付けることができることを評価規矩をする。 上知識及び比較 J 物報では、既好の各型の各種目において用いられる技術や戦務、作戦に は名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、ボールの高さ ヤロースなどはタイミングを合わせてボールをとらえることができ、 1 歴考力、判断力、表現力等 J ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、 りよいマナーや行為について、自己の活動を提び返ることを作戦などの話合いの場面 で、合意形成するための関わり方を見付け、仲間に伝えることができ、球技の宇宙成果を 酵まえて、自己に適した「する、みる、支える、加る」などの理動を譲続して楽しむため の関わり方を見付けることができる。 『学びに助かう力、人間性等』を抜き中容に自主的に取り組み、相手を準重するなどの フェアなアレイを大切にしようとすることと作戦などについての話合いに貢献しようとす ることができる。	0	0	0	12
	F:ネット型 点集 (女子) 終人間と社会と投棄を分けている体育のため、通 年を選して同じ業を名 4 ローデール機件や皮定した用思の機件と連携した動 をはたって空かい場所をめるくみ吹削さすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等)攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理 がた解決に向けて運動の取り組み方を工失するとともに、自己や仲間の考えた ことを他者に伝えることができるようにする。 【学に大向かう力、人間性等)球技に自主的に取り組むとともに、フェアなブ 「学に大向かう力、人間性等」球技に自主的に取り組むとともに、フェアなブ レイを大切にしようとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとす。 ること、一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、広い に助け合い教えるおうとすることなどや、健康・安全を確保することができる ようにする。	・基本的な打ち方 ・シングルとダブルスのルールの 違い ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人 1 台端末の活用 等	次の事項をおに付けることができることと評価規則とする。 知識及び活動と知識では、無好の整める種目において用いられる技術や機能、作業に は名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、ボールを相手 棚のコートの変い短期でれること場所に打ち返すができる。 【思考力、判断力、表現力等】ルールを守り競争したり翻放を受け入れたりする場面で、 むりよいマナーや行為について、自己の活動を提り返ることや球体の容弱成果を請すえ て、自己に満した「する、みる、支える、加る」などの運動を継続して楽しむための関わ 力を見付けることができる。 【学びに助かう力、人間性等)球技の学習に自主的に取り組み、相手を準重するなどの 「学びに助かう力、人間性等)球技の学習に自主的に取り組み、相手を準重するなどの ことができる。	0	0	0	12
	□: 木林 【男女共修】 【細蔵及び送型】記録か向上や積争の楽しさや客びを味わい、技術の名称や行い 方、体力の高か方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に体ぐことが できるようにする。 【里秀力、判断力、表型力等】被法などの自己や仲間の理題を発見し、合意的な解 大に向けて運動の取り組み方を工まするとともに、自己の考えたことを他客に伝え ることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】大株に自主的に取り組むとともに、勝敗などを合動 に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうと すること、一人人の強いに応じ、温度や機能を大切にしようとすることができるようにする。 未終の事故历止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができるようにする。	・クロール・平泳ぎ・救命の方法(着衣泳等)・一人1台端末の活用	次の事項をおに付けることができることを評価規則をする。 「知識及び北端)知識では、表体の各種10円1かられる技術の名称があり、それぞれの技術には、効率的に体ぐためのポイントがあること、技能では、クロールは、計を曲げて競を住作水をとらえ、加速するようにかくことができ、平秋ぎは、手を動力だれまぐ他に大きに計を曲げ、知道とせながら内側にから込み、抵抗を減らすために類早く手を前に戻すストローの動きをすることできる。 【思考力、判断力、表演力等)選択した状法について、自己や特別の動きをすることできる。 【思考力、判断力、表演力等)選択した状法について、自己や特別の動きをすることできる。 【思考力、判断力、表現を力等)選択した状法について、自己や特別の動きをすることできる。また、水体の学習成長を影まで自己に貼してする、みる、支える、知る」などの生態にわたって楽しむための関わり方を見付けることができる。 【学びに助かう力、人間性等)水体の学習に自主的に取るみ、一人一人の違いに応じた認能を検察しています。	0	0	0	3
	□: 木林 「野東共野」 「無職及び財産」記録の向上や積金の楽しさや裏びを味わい、技術の名称や行い 方、体力の高の方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に除ぐことが できるように下る。 【里等力、判断力、表現力等】承述などの自己や仲間の課題を発見し、合意的な解 大に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他常に伝え ることができるようにする。 「学びに向かり、別性等」大林に自主的に取り組むとともに、自己の責任を混えたうと よった。一人への強いに応じ課題や実験を大切にしようとすることとである。 大きた。 大きた。 大きた。 大きた。 大きた。 大きた。 大きた。 大きた	・クロール・平泳ぎ・救命の方法(着衣泳等)・一人1台端末の活用 等	次の事項を存に付けることができることを計画限率さする。 加騰及び北端) 知識では、旅かの各種で用りたもの技術の名称があり、それぞれの技術には、効率的に旅ぐためのポイントがあること、技能では、クロールは、財産制で解金体で水をとらえ、加速するようにかくことができ、平林さは、手を助方に大きく伸ばした。 (本に対を即げ、加速させながら内側にかき込み、抵抗を残らすために業早く年を側に戻した」では、1世のの動をとすることできる。また、大体の子部原を搭集えて自己に選し、 は、点や修正たを指摘することができる。また、大体の子部原を搭集えて自己に選した。 は、から、支える。知る」などの生態にわたって楽しかための関わり方を見付けることができる。 (学びに助から力、人間性等)大株の学家に自主的に取り組み、一人一人の違いに応じた記載では、「学びに助から力、人間性等)大株の学家に自主的に取り組み、一人一人の違いに応じた 理器や機能を大切にしようどすることや大株の事故が近める他を遵守し、危険の予測をしながら回避行動をとるなど、健康・安全を確保することができる。	0	0	0	4
	A:体つくり運動【男女共修】 【知識及び運動】体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し	・ストレッチ	次の事項を身に付けることができることを評価規準とする。 【知職及び運動】知識では、運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないよう				

	接化することや心臭の地盤に気付き、特別と自主的に関わり合うことができるようにする。実生派に生かて運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持機造や調和なられた権力の向上を図るための運動が計画を立て取り 職しことができるようにす 【思考力、判断力、表現力等】目亡や特別の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の反り組みを正まするとともに、自己や特別の考えたことを他者に伝えることができるようにする、【学びに向かうり、例性等】体つくり運動に自生的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること。 トートー人の強いに応じた動きなどを大切にしようとすること あらいに貢献しようとすることをとや健康・安全を確保することができると、活ちいに貢献しようとすることを	・ヨガ・一人1台端末の活用 等	にすることや軽い運動からかかるなど、徐々に臨時を思かてから行うこと、運動では、の なのびとした動作で用見などを用いた運動やランことを追して、向けれらり間からか のすることが思える。また、関和のとれた体力の向上を超ったり、選択した運動やスポー の場面で必要をおれる体の動きをあかたりするために、効率のよい組合性やパランスの よい組合性や運動の計画を立てて扱り組むことができる。 1 思考力、判断力、表現力的、健康や安全をや全を確保するために、体力や体限に応じ た運動の計画等について振り返ることができる。また、体力の程を性均等の違いに配慮 して、特即とともに体っく、撃撃を楽したための活動の方法や管理の仕分を見付けること ができる。 【学びに向かう力、人間性等】体つくり運動の学習に自主的に取り組み、一人一の違い に応じた動きなどを大切にしようとすることや中間に課題を伝え合うなど、互いに助け合 い教え合おうとすることができる。	0	0	0	4
	注: 作客理論 【野女共的】 「加齢】 スポーツは、人類の歴史ともに始まり、その理念が時代に応じて多様に 皮容してきていることや我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること とができるようにする。現代のスポーツは、オリンドックをいうリンドック等の回 助大会を通して、国際報告や世界平和に大きな党制を果たし、共生社会の実現にも 等与していることやドーピングは、フェアブレンの特針に反するなど能力の展界に 活験するスポーツの文化的価値を失わせることができるようにする。 「思考力、判断が、表現力等)エペーツの文化的特性を現代のスポーツの展記について、課題を根見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える ことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について受害に自主的に取り組むことができるようにする。	・スポーツの歴史 ・スポーツとは ・オリンピック、パラリンピック ・ドーピング ・一人1台端末の活用 等	次の事項を食に付けることができることを評価観車とする。 打細菌、メポーツは、人類の歴史とともに世界を他で日来の高げや生活などから生まれて きたこと、近代になって、メポーツ上域楽から競技に変化し、一般の人びたに広がって は、日本の文化の発信に貢献していることを理解できる。また近年で は、日本の文化の発信に貢献していることを理解できる。また近年で は、日本の文化の発信に貢献していることを理解できる。 現代のスポーツは、国際製造や世界平和による化資粉を集たしていて、それがオリン ビックやバラリンピック等の回際大会があることを理解できる。 「見考力、実力が、の場神に反する下正な行合さあり。他の回際下に接破十る ボーツの文化的価値を失わせる行為であることを理解できる。 「見考力、判断力、表現力等」スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意 液や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わかを見いだしたり して、自己や社会にスポーツがもたっド影響のファンで、運動を発見することができる。 【学びに向かう力、人間性等】スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学 署に、自主的に変り組むうとすることととができる。	0	0	0	5
	Ⅰ:ゴール型 ハンドボール【男女共修】 【知識及び技能】安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前へ吸入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解析に向けて運動の取り組入力を工夫するともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【字びに向かう力、人間性等】球状に自主的に最り起むともに、フェアなブレイを大切にしようとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとすること、一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること、五いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	 基本的なパス ドリブル シュート ゲームの理解 ゲーム 一人1台端末の活用 等 	次の事項を身に付けることができることを評価規準とする。 【知識及び技能】知識では、球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦に は名称があり、それらを身に付けるためのボインがあること。技能では、味力が操作し やすいバスを送ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術につい ての課題や課題解除に有効な練習方法の過程状について、自己の考えを伝えることができる。 ことや球状の学習展末を結まて、自己に慮した「する、みる、支える、知る」などを 動を継続して来したための限シリカを見付けることができる。 【学びに向かう力、人間性等」球技の学習に自当に成り組み、相手を尊重するなどの フェアなアレイを大切にしようとすることと作戦などについての結合いに貢献しようとす ることができる。	0	0	0	12
2 学期	J:ネット型、バドミントン【男子】 【知識及びた終日、登幹に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる友防をすることができるようにする。 【思考丸、判断力、表現力等」 攻防などの自己ヤーナーの課題を発見し、合理的な解状に向けて運動の取り組み方を工夫するともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに応かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組わとともに、フェアなプレイを大切にしようとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとすること、 Luい、助け合い、戦え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することが、ことが、しまりとすること。 Luい、助け合い、戦え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することがさる」といい。	・基本的な打ち方 ・シングルとダブルスのルールの 違い ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人1台端末の活用 等	次の事項を身に付けることができることを評価原準とかれて用いられる技術や戦術、作戦に は海族の状態力が、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、シャトルを相 手側のコートの空いた場所であった場所に行る近すができる。 【思考力、判断力、表現力等】ルールを守り服舎したり削減を受け入れたりする場面で、 よりよいマナーや行為について、自己の活動を対り返ることや実技の学習成果を踏まえ て、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続として集しむための関わ 力を見付けることができる。 【学びに向かうか、人間性等】球技の学習に自主的に取り組み、相手を導重するなどの フェアなアイタを分切にしようとすることと作戦などについての話合いて貢献しようとす ることができる。	0	0	0	12
791	B: 器械運動 1女子] 【知識及付款能】回転系や巧技系の基本的な技を滑らかに安定して行うこと、条件を変えた技や発展技を行うこと及びそれらを構成し演技することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】技などの自己や仲間の課題を発見し、合理、 的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】器械運動に自主的に取り組むとともに、 小演技を讃たしたようとすること。 五いに助け合い教え合おうとすること と、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや 機能・安全を確保することができるようにする。	・前転、後転、開脚前転、開脚後 転、側転、ロンダート 等の基本 的な技 ・倒立、倒立前転、ハンドスプリ ング、バク転 等の技 ・一人1台端末の活用 等	・ 類域及び反応・力磁には、日に敷容と下側の動きで力削すのには、日に敷容と地看 顕紫などの方法があることや技と関連させた補助運動や電分線容を取り入れることにより、結果として体力を高めることができること。技能では、体をマットに順々に接触させて回転するための動き方、固転力を高めるための動き方で、基本的な技の一連の動きを滑	0	0	0	12
	□: ゴール型 パメケントボール [男子] 美人間と社会と投棄を分けている体育のため、選年を急じて同じ機業もローラ 「加速度に対象」を定したボール機能と窓際を作りだすなどの動きによってゴール 場かの侵入などもの状態をすることができるようにする。 観かの侵入などもの状態をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等」実防などの自己やゲームの意態を発見し、合理的な 解決に向けて整備の数を自私力を上大するともに、自己や外間の考えたことを他 者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう)、例性等)兼技に自主的に取り組むとともに、フェアなケレイ を大切にしようとすること、作機などについての結合いに貢献しようとすることを 人口というにないたりたりなどを大切にしようとすること。またいたりとからな 入合わりとすることなどや健康・安全を確保することができるようにする。	 基本的なパス ドリブル レイアップシュート ゲームの理解 ゲーム 一人1台端末の活用 	本の事項を食に付けることができることを評価規準とする。 1 知識及び特別 1 知識では、実践を各型の各種において叩いられる技術や戦術、 作戦には各等があり、それらを身に付けるためのボイントがあること、投能では、 ゴール前に広い空間を作りだすために、守備を必引をつけてゴールから離れること。 はできる。 はできる。 はできる。 は思考力、場所力、表現力等」ルールを守り襲やしたり襲吹を受け入れたりする場 面で、よりよいマナーや行為について、自己の反動を握り返ることや収抜の学習成 を始まえて、自己に塞した「する、みる、友える、知る」などの運動を継載して 塞しむための関わり方を見付けることができる。 1学びに向かう力、人間性等」ま状の学習に自主的に取り組み、相手を増重するな どのフェブなアレイを大切にしようとすることと作戦などについての結合いに貢献 しようとすることができる。	0	0	0	
	助:ネット型、バレーボール【別子】於人間と社会と授業を分けている体育の たり、海年を通して同じ投業をイコーデ におり、海年を通して同じ投業をはしています。 日本課人び技能」を繋化しています。 は、日本では、日本では、日本では、日本できるようにする。 は、日本のは、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本では、日本で	基本的なパススパイクサーブゲームの理解ゲーム一人1台端末の活用	おの事項を食べ付けることができることを評価健康とする。 【知識及び技能】知識では、球技の各型の各種自において用いられる技術や戦極、 作戦には各所があり、それらを身に付けるためのボーントがあること、技能では、 アロシースを指す側のこれを表す。 「他の大きにはなった。」では、大きには、大きには、 では、大きには、大きには、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	0	0	0	
	は、ハースボール型 キックベース 【女子】 表人間と社会と授業を分けている体育 だった。 選手を基して同じ業業を4 ロラク 「加速及けれる」 対象となった。 では、大変を1 では、大変を1 での攻撃、安定したボール機作と状況に応じた が確定とは、たって攻筋をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等」を誰にわたって運動を豊かに課金するためのチーム のようによった。 「思考力、判断力、表現力等」を誰にわたって運動を豊かに課金するためのチーム もに自己受難を全見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み力を上去するとと もに自己やザームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 「学びに向かう)、別性等】 球状に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしまうとすること な意態成に環境にようとけること、一人人の強いにひたプレイなどを大切にし ようとすること、互いに助け合い高め合おうとすることなどや健康・安全を確保す ることできるようにする。	25/T-HJ/6 (1 / / / // //	次の事項を身に付けることができることを評価規率とする。 「知識なけ技能」知識では、単純の各型の各種自において用いられる技術や職術、作業には、ポールの高さ では、ポールの高さ では、水の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大の大	0	0	0	
	□:ネット型 森原 女子 減火間と社会と授業を分けている体育のため、通 申を過して同じ業をも4 ロット 4 知識及び技能 食物になじたボール・操作や安定した用具の操作と連携した動 らによって恋いと場所をめるなの数かをすることができるようにする 1 里考力、判断力、表現力等)攻防などの自己やテームの環題を発見し、合理 が必解なに向けて業態の取り組みがを上来するともに、自己や仲間の考えた ことを修常に伝えることができるようにする 「学びに向かう力、人間性等」は投い自生がに取り組むとともに、フェアなブ レイを大切にしようとすること、作機などについての話合いに貢献しようとす ること・一人の適いに応じたブレイなどを大切にしよりをすること、互い に助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができる ようにする。	 基本的な打ち方 ・シングルとダブルスのルールの違い ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人1台端末の活用 等 	本の事項を会に付けることができることを評価健単とする。 知識我の対能) 物価では、無数なの整切を機能において用いられる技術や機能、作戦に は名称があり、それらを身に付けるためのボイントがあること、技能では、ボールを相手 棚のコートの変いた場所ではたった場所に打ち返すができる。 【思秀力、判断力、表現力等】ルールを守り勝守したり静妙を受け入れたりする場面で、 よりよいマナーや行為について、自己の活動を使り返ることや状化ケ学音楽を参加さ よりよいマナーや行為について、自己の活動を関り返ることを状化ケ学音楽を参加する よりないできない。 は、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を機能して楽しむための関わ 力を見付けることができる。 【学びたロかう力、人間性等】球技の学習に自主的に取り組み、相手を奪車するなどの フェアなアレイを大切にしようとすることと作戦などについての話合いに貢献しようとす ることができる。	0	0	0	
	A: 昨々くり瀬敷 [男友共称] 「知識及び運動」はほく口の運動では、手軽な運動を行い、むと体は互いに影響し 気化することや心身の水態に気付き、特別と自主的に関わり合うことができるように する。実生派によわず運動の計画では、おらいにないて、健康の保持機を実備す のとれた体力の由上を図るための運動の計画を立て取り載してことができるようにす 「思考力、判断かみを工夫するとともに、自己や仲間の運動を発見、合理的な解決に向けて 運動の企業があるがを工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えるこ 「学びに向かった」、人間性等1 体っくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに はずいました。として、上へ人の違いにひたり動きなどを火切によう とすること、話合いに異軟しようとすることなどや健康、安全を確保することができるようにする。	・縄跳び・色々な技の跳び方・一人 1 台端末の活用 等	次の事項を存に行けることができることを非態度率とする。 「知識及の運動) 制能では、実生活で運動を維持するには、行いやすいこと、無理のない 計画であることなどが大切であること、運動では、仲間と協力して課題を達成するなど、 集団で機能するとうな運動が行うことを通して、気付いたり間のもったりすることが きる。 「思考力、判断力、表現力等」健康や安全を全を全全を確保するために、体力や体調に応じ た運動の計画等について振り返ることができる。また、体力の根底や性均等の違いに配置 とて、仲間ととに体つくり運動を表したかの指動の力法や単立の仕方を見付ける に応じた動きなどを大切にしたりであった。 「年行に助かう力、人間性等」体つくり運動の学習に自主的に取り組み、一人一人の違い に応じた動きなどを大切にしたりとすることや仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合 い教え合おうとすることができる。	0	0	0	6
	料: 作客理論 1男 失共的 1 1 細胞 1 現代の北十ツは、経済的な皮及効果があり、スポーツ産業が経済の中で 大きな影響を設定していることやスポーツの経済的な皮及乳果が美さらにわれ、スポーツの高度などが一般水から力をとができるようにする。スポーツを行う原 は、スポーツが環境や社会にもたらす影響を予選し、多様性への無熱や特較可能な 社会の実現にまする既任ある活動が水のもれることができるようにする。スポーツの (思考)、判断力、表現り等1 メポーツの文化的特性や現代のスポーツの展展につ いて、課題を受し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える ことができるようにする。 (学びに向かう人、風性管別 メボーツの文化的特性や現代のスポーツの発展につ いての学習に自主的に取り組むことができるようにする。	・スポーツ産業 ・スポーツと経済 ・スポーツと経済 ・スポーツが環境と社会への影響 ・一人 1 台端末の活用 等	次の事項を食に付けることができることを評価機単とする。 和期間 経済的効果には、スポーツの実施による産業的が効果のみならず、広範な業種から構成されるスポーツ電業による効果、スポーツイベント等による。 現代の主義が効果があり、経済活動に大きな影響を食ましていることを繋解できる。指 様では、スポーツを「みる。支える」程点から取り上げ、スポーツと関 かる経済活動に求められるスポーツの価値の選択でいいて、自己の考えを認めることができる。 スポーツに関わる人をの増加は、地域の人々の左統や社会環境にも様々な影響をも もらすようとなっていることを理解できる。また、スポーツを行う時には、提供者 用者の双力が特較可能な社会の実現や実生社会の実現を提野に入れた取組が求められること についても関係できる。 【思考力、判断力、表現力等】スポーツの経済が効果と高度さやスポーツが環境や社会へ もたらが影響でいいて、習用した知識を基に、特徴可能なスポーツの発展のための課題の 解決に向けて、自己の概要と言葉や支数などを適して他的に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等」スポーツの大力を持て伝えることができる。 冒字がに向かう力、人間性等」スポーツの表情がとのである。 習に、自主的に取り組もうとすることことができる。	0	0	0	6
	K:陸上競技 (男女共修) 【知識及び技能】長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合助かな解決に向けて運動の取り組み方を工夫するともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、自己の責任を果たそうとすること、人二	・時間走 ・距離走 ・記録会 ・一人1台端末の活用 等	本の事項を会に付けることができることを評価股準とする。 力職後の状態) 無確では、歴史検定を帰じて用いられる技術の名称があり、それぞれの技術には、記録の由上につながる重要な動きのポイントがあること。接種では、リズミかに随を使り、力かのないフェートで整映たまることや自己の中かず技能の程度に合ったベースを維持して走ることができる。 【思考力、判断力、表現力等」機能が安全を確保するために、体器や環境に応じた適切な経営力に参いついて取り返ることや他上便技の学習成果を踏まえて、自己に適した「するみら、支えら、ある」などの動きを提修して乗したがの制度力が支援付けることが、これのような、別の1などの動きを提修して乗したがの制度力が支援付けることができる。 「中心に助かう力、人間性等」路上模様の学習に自主的に取り組み、制飲などを含軟に受けまめ、ルペマナーを欠切にしようとすること。一人一人の違いに応じた護期や模様を大切にしようとすることができる。	0	0	0	12
2	1 かかいしたビネ・調理の基準法・上側に1 トスト・オス・しないとか にゴール型 パスケットボル【男子】 英人間と社会と授業を分けている体育の ため、通年を通して同じ授業を4ローテ 【知識及び技能】安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール ※ 2012 は、2012 によってゴール	・基本的なパス・ドリブル	次の事項を身に付けることができることを評価規準とする。 【知識及び技能】知識では、球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、 作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、				

学期	脚への接入などから攻助をすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】文的などの自己やケームの異種を発見し、合理的な 解状に向けて運動の取り組み方と上するとともは、自己や仲間の考えたことを他 者に伝えることができるようにする。 「中でにしかう」人間では「神風な自主が以下り組むとともに、フェアなフレイ 「中でにしかう」人間では「神風な自主が以下りなりがいに質しようとすること。 一人一人の違いに応じたブレイなどを大切にしようとすること、扱いに助けらい教 え合おうとすることなどや健康・安全を確保することができるようにする。	・レイアップシュート・ゲームの理解・ゲーム・一人1台端末の活用 等	ゴール前に広い空間を作りだすために、守備者を引きつけてゴールから離れることができる。 【思考力、判断力、表現力等】ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活動を採り返ることや球状の学習成果を踏まえて、自己に適止してする。みる、大きなのとの運動を課題して楽しむための関わり方を見付けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】線技の学習に自主的に取り組み、相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとすることと作業などについての話合いに貢献しようとすることと作業などについての話合いに貢献しようとすることとができる。	0	0	0	
	①: ネット型 バレーボール 【男子】 奈人間と社会と授業を分けている体育の ため、海年を追して同じ接業を4 ロホラート・マンス・ 「知識及び技能】 食削になじたボール操作や安定した用具の操作と連携した動 によって空いた場所をめる気防をすることができるぶらはである。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの環題を発見し、合理 がな解決に向けて護卵の取り組みがモエオラとともに、自己や仲間の考えた ことを他素に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 採技に自主的に取り組むとともに、フェアなブ レイを大切にしようとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとす ること、一人の強いに応じてプレイなどを大切にしようとすること、五い に助け合い教え合おうとすることなどや、健嫌・安全を確保することができる ようにする。	・基本的なパス ・スパイク ・サーブ ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人 1 台端末の活用 等	次の事項を穿に行けることができることを評価規準とする。 「知識及び投送」知識では、東状皮の登空の各種において用いられる技術や戦術、 作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、 ボールを相手側のコートの空いた場所でれるこの法術に行り返すができる。 「思考力、判断力、表現力等」ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいケナーや行為について、自己の語を経り返ることや球技の書成 果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を課題して 業しむための間かり方を見付けることができる。 「学びに向かう力、人間性等」球技の学習に自主的に取り組み、相手を尊重するな とのフェアなアンイを大切にしようとすることと作戦などについての話合いに貢献 しようとすることができる。	0	0	0	
	官: バースボール型 キッグバーズ [女子] な人間と社会と対義を分けている体育のため、選件を基して同じ業業を4ローラ [知識及び技能] 状況に応じた走起での火撃、安定したボール操作と状況に応じた場合でおいてきるようにする。 (1思考)、判断力、表現力等1 主張にわたって運動を豊か、淫聴材するためのチーム自己の連題を発し、合理的、実施的な解決に向けて取り組み方と大きるともに自己サイエへの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 (12年代の中か入人間性等) [イヤバーのサイン人間では、フェンなプレーを大切にしようとすることをおいていることがよりますること、会談が近に実施しようとすること、一人一人の違いに応じたブレイなどを大切にしまうとする。 反いに助け合い素め合まりとすることなどや健康・安全を確保することできるようにする。	 基本的なキャッチボール ・捕球の仕方 ・キック ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人1台端末の活用 	次の事項を好に付けることができることを評価規度とする。 上知識及び任能う場際では、账件の条型の各種目とおいて用いられる技術や戦術、作戦に は名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあること、技能では、ボールの高さ ヤロースなどはタイミングをもかせてボールをとらえることができ、 1 思考力、判断力、表現力等1 ルールを守り競争したり制度を受け入れたり、一つ場面 で、合意形成するための間やり力を見付け、仲間に伝えることができ、単枝の宇宙成果を 作業えて、自己に満した「する、みる、支える、加る」などの運動を観して乗しむため がまえて、自己に満した「する、みる、支える、加る」などの運動を観して乗しむため 「学びに向かう力」人関性等1 財技の学習に自主的に取り組み、相手を尊重するなどの フェアなアセイを大切にしようとすることと作数などについての話合いに貢献しようとす ることができる。	0	0	0	
	で:ネット型 卓球 [女子] 茶人間と社会と授業を分けている体育のため、適年を 起して同じ投資を4ローデ 日知歳及び技能! 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きに よって空いた場所をからでみびあせっちっとかできるようにする。 [思考〕、判断力、表現力等] 文的などの自己やゲームの課題を発見し、合理的な 様法に向けて運動の取り組み方を上来するともには、自己や仲間の考えたことを他 君に伝えることができるようにする。 「学びに向かう人、人間性等」 実材に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイ を大切してようとすること、作戦などについての話合いに貢献しようとすることを 、一人一人の悪いたのじたプレイなどを大切にしようとすること、其ではかけ合い教 え合おうとすることなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	 基本的な打ち方 ・シングルとダブルスのルールの 違い ・ゲームの理解 ・ゲーム ・一人1台端末の活用 	次の事項をおに付けることができることを評価規定とする。 日職及びは終う場合というできない。 日職後のは終う場合を知る格目とはない。 日本のようないない。 日本のようないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	0	0	0	合計 105

大泉桜高等学校 令和5年度(1学年用) 孝保健体育科 科目 保健

教 科: 保健体育科 科 目: 保健 単位数: 1 単位

対象学年組:第 1学年 1組~ 5組

 教科担当者: (1組:町田)
 (2組:町田)
 (3組:和田)
 (4組:町田)
 (5組:和田)

 使用教科書: (現代高等保健体育 大修館書店)
)

教科 保健体育科 の目標:

【知識及び技能】個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 健康について、自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、 目的や状況に応じて他者に伝える力ことができる。

【学びに向かうカ、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれぞれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。

科目 保健

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
理解を深めるとともに、技能を身につけるよう	健康について、自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えるカことができる。	を支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・安全な社会づくりには、環境の整備とそれに 応じた個人の取組が必要であることを指導す る。 ・交通事故を防止するには、車両の特性の理 解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の 生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わる ことを指導する。 ・交通事故には補償をはじめとした責任が生じ ることを指導する。	・事故の原因と発生要因 ・安全な社会の形成 ・交通における安全	・安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応した適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携などが必要であることを理解できる。 ・交通事故を防止するには、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境を整備が必要を指が返することを理解できる。 ・交通事故には補償をはじめとする法的責任などが生じることを理解できる。	0	0	0	3
	・国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを指導する。 ・健康の保持増進には、ヘルスプロモーション・考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わることを指導する。	・健康の考え方と成り立ち・私たちの健康のすがた	・国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命 など各種の指標や疾病構造の変化を適して理解できる。また、健康水準、及び 疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様次守労働形態を含む社会の 状況が関わっていることについて理解できる。 ・健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え 力も変化してきいいて理解できる。 ・事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、 気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関 遂していることを理解できる。	0	0	0	7
	・健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び 健眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを指導する。	・生活習慣病の予防と回復 ・がんの原因と予防 ・がんの治療と回復 ・運動と健康 ・食事と健康 ・休養、睡眠と健康	・がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、体養又心臓既など、調和のとれた健康的生活を被けることが必要であること。定期的な健康診断やが人検診などを受診することが必要であることを理解できる。 ・がんについては、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細胞やマイルスの感染などの原因もあることについて理解できる。 ・がんの回復においては、手術療法、化学療法(抗が人剤など)、放射線療法などの治療法があること、患者や周囲の人の生活の質を保つことや護療やアが重要であることについて理解できる。 ・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やが人検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることを理解できる。	0	0	0	4
	・定期考査			0	0	0	1
	・ 喫煙と飲酒は、生活習慣病などの要因になることを指導する。 ・ 薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないことを指導する。 またそれらの対策には、個人や社会環境への対策が必要であることを指導する。	・・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康精神疾患からの回復	・ 吸煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねることを理解できる。また、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、 健全な価値製の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備と含めた社会環境への適切な対策が必要であることを理解できる。その際、好奇心、自分自身を大切にする気持ちの低下、周囲の人々の行動、マスディアの影響、ニュチンやエチルアルコールの豪運作用おどが、喫煙や飲酒の開始や継続の要解、たなことが解すてきる。カイン、MBMA とどの麻薬、電解制、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならない」とを理解できる。また、薬物の品では、たむしい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び述的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることを理解できる。	0	0	0	4
2 学期	・感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられることを指導する。 ・予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを指導する。	・現代の感染症 ・感染症の予防 ・性感染症、エイズとその予防	・感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られることを理解できた。 で支通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、勝管出血性大腸菌感染症、結核との新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることを理解できるようにする、 ・感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを削壊とした個人の取組が必要であることを理解できる。 ・エイズ及び性蔵を旅についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について理解できる。	0	0	0	4
	・健康の保持増進には、ヘルスプロモーション の考え方を踏まえた個人の適切 な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わる ことを指導する。	・健康に関する意思決定、行動選択 ・健康に関する環境づくり	・適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間 関係などを含む社会環境が関連していることを理解できる。 ・適切な意思決定や行動選択を行うには、十分に情報を集め、思考・判断する こと、行動に当たっては自分なりの計画・評価を行うこと、及び社会的な影響 に適切に対处することなどが重要であることについても理解できる。 ・健康を保持増進するための環境には、自然環境、及び政策や制度、地域活動 などの様々な社会環境があることを理解できる。	0	0	0	2
	・定期考査			\cap	\cap	\cap	1

1				$\overline{}$	$\overline{}$	$\overline{}$	1
	・精神疾患の予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践するとともに、心身の不調に気付くことが重要であることを指導する。 ・疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることを指導する。		・精神疾患の予防と回復には、身体の健康と同じく、適切な運動、企事、休養 及び睡眠など、調和のとれた生活を実践すること、早期に心身の不調に気付く こと、心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラシセーション の方法でストレスを緩和することなどが重要であることを理解である。 ・心身の不調時には、不安、助うつ、無候、不暇などの精神活動の変化が、通 常時より強く、持続的に生じること、心身の不調の早期発見と治療や支援の早期の開始によっ回復可能性が震さることをは、専門家への相談や早期の ・人々が精神疾患について正しく理解するとともに、専門家への相談や早期の 治療などを受けやすい社会環境を整えることが重要であること、偏見や差別の 対象ではないことなどを理解できるようにする	0	0	0	4
3 学 其		・日常的な応急手当・心肺蘇生法	- 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和した りすることを理解できる。 ・日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の 確保、止血、固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を 通して理解し、応急手当ができる。 心心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな 改道確保、人工呼吸、胸骨には、AD(自動体式床練動器)の使用などが必要 であること、及び方法や手順について、実習を通して理解し、AED などを用い て心肺蘇生法ができる。	0	0	0	4
	• 定期考査			0	0	0	1 合計 35